

■公益社団法人日本都市計画学会関西支部 2024 年度総会（13：45～14：10）

議事

- 1 号議案：2023 年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部活動報告について
- 2 号議案：2024 年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部活動方針について
- 3 号議案：2024 年度公益社団法人日本都市計画学会関西支部役員選出について

13：45 開会

司会：総務委員会 大庭委員

総会の成立状況の報告：三崎総務委員長

- ・支部規程第 12 条の規程により、総会の開催要件は正会員数（612 名）の 5 分の 1 以上の出席で成立（123 名以上）
- ・本日の正会員出席数 15 名（うちオンライン参加者が 3 名）、委任状による委任者 110 名、賛否表明書による者 21 名、合計 146 名で、支部規程第 12 条第 1 項の規程により、本総会は有効に成立
- ・支部規程第 12 条第 2 項の規程により、総会の議事は、委任状などの提出者を含む出席正会員の過半数をもって決する。

開会の挨拶：嘉名支部長

・まず、令和 6 年能登半島地震にて被害にあわれた皆様にお見舞い申し上げます。

・日本都市計画学会関西支部は 1991 年 10 月に創立され、今年で 33 年目となる。創立以来、土木、建築、造園の 3 分野の相互の連携、産学官のプラットフォームとして、関西の都市計画の議論・提案を行っている。

・現在、都市計画を取り巻く環境は大きく変化し、都市計画に求められる役割が多様化している。例えば、災害への対応、人口減少、中心市街地の活性化、郊外住宅地の再構築、気候変動への対処、カーボンニュートラル、老朽化する都市施設のリニューアルなどである。

・これらの問題に対して、より多様な関係者と一緒に考え、作っていくことが求められている。都市計画学会関西支部は、アカデミア中心でなく、産官学民のプラットフォームとしての役割強化が求められる。より多くの方が、都市計画学会や関西支部の活動に加われる機会を作っていきたい。



・4月13日は、2025年大阪万博の一年前となる。未来の都市計画のあり方について、社会と接点を持ちながら、関西支部の活動を進めていきたい。会員の皆様のご支援をお願いしたい。

議長選出：嘉名支部長

(議事開始)

第1号議案「2023年度関西支部活動報告について」

：三崎総務委員長

第2号議案「2024年度関西支部活動方針について」

：三崎総務委員長

第3号議案「2024年度支部役員選出について」

：嘉名支部長

⇒第1～3号議案いずれも、出席者からの反対、賛否表明書で自由記入欄に記入して提出した人無しのため可決

14:10 (閉会)

